＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	霧島杉利用住宅『霧島の家』
グループの名称	霧島住まいの協議会
直近採択グループ番号	06-0381-0800

（グループ代表者）

代表者名	米田　裕一　代表者印
代表者所属先	有限会社エイエスピイホーム
代表者所在地	鹿児島県霧島市国分広瀬4丁目7番6号
代表者電話番号	0995-45-1123

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社米田
事務局担当者名	橋口　浩子　印
事務局郵便番号	899-4321
事務局所在地	鹿児島県霧島市国分広瀬4丁目7番6号
事務局電話番号	09-9545-1123
事務局FAX	09-9545-3024
事務局担当者E-mail	meta1123@estate.ocn.ne.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	霧島杉利用住宅『霧島の家』
２．グループの名称(必須)	霧島住まいの協議会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0381-0800
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	鹿児島県
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	米田　裕一
７．グループ代表者の所属先(必須)	有限会社エイエスピイホーム
８．グループ代表者所在地(必須)	鹿児島県霧島市国分広瀬4丁目7番6号
９．グループ代表者電話番号(必須)	0995-45-1123
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社米田
１１．グループ事務局担当者名(必須)	橋口　浩子
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	899-4321
１３．グループ事務局所在地(必須)	鹿児島県霧島市国分広瀬4丁目7番6号
１４．グループ事務局電話番号(必須)	09-9545-1123
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	09-9545-3024
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	meta1123@estate.ocn.ne.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	4	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	5	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	5	
Ⅳ．プレカット	1	
Ⅴ．設計	8	
Ⅵ．施工	10	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	■　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	棟	
			㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	棟	
			㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	契約が確定している物件を優先して配分し、残りの配分枠は抽選にて配分し配分枠が残らない様にする。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸
	優良建築物型								
	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績（竣工予定含む）棟数		戸
	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積		㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
46	Ⅰ － 1	鹿児島県森林組合連合会		892-0816	鹿児島県鹿児島市山下町9-15	099-226-9471
46	Ⅰ － 2	隼人木材流通センター		899-5114	鹿児島県霧島市隼人町西光寺小関1710番地	0995-42-2064
46	Ⅰ － 3	高山木材流通センター		893-1207	鹿児島県肝属郡肝付町新富植村7151番地	0994-65-5234
46	Ⅰ － 24	かごしま森林組合		897-0215	鹿児島県南九州市川辺町平山6140-1	0993-56-0079
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
46	Ⅱ － 4	株式会社米田		899-4321	鹿児島県霧島市国分広瀬4丁目7番6号	0995-45-1123
46	Ⅱ － 5	共同組合きもつき木材高次加工センター		893-1206	鹿児島県肝属郡肝付町前田2090-6	0994-63-4047
46	Ⅱ － 6	株式会社西村		899-4461	鹿児島県霧島市国分上之段401-2	0995-54-8055
46	Ⅱ － 7	山佐木材株式会社下住工場		893-1206	鹿児島県肝属郡肝付町前田2090	0994-31-4141
46	Ⅱ － 23	株式会社南薩木材加工センター		897-0133	鹿児島県南九州市川辺町下山田4228	0993-57-2677
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －				

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
46	Ⅲ － 1	鹿児島県森林組合連合会		892-0816	鹿児島県鹿児島市山下町9-15	099-226-9471
46	Ⅲ － 4	株式会社米田		899-4321	鹿児島県霧島市国分広瀬4丁目7番6号	0995-45-1123
40	Ⅲ － 8	越智産業株式会社		810-0071	福岡県福岡市中央区那の津3丁目12番20号	092-711-9171
13	Ⅲ － 9	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場1丁目7番22号	03-5534-3711
46	Ⅲ － 22	株式会社パーフェクト		891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町10-5	099-268-4936
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
46	Ⅳ － 10	北薩材プレカット事業協同組合		895-1816	鹿児島県薩摩郡さつま町時吉2033-5	0996-52-0888
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
46	Ｖ － 11	有限会社エイエスピイホーム		899-4321	鹿児島県霧島市国分広瀬４丁目７番６号	0995-45-1123	○	
46	Ｖ － 12	株式会社津田和建設		899-5112	鹿児島県霧島市隼人町松永３２８２番地４	0995-42-1238	○	
46	Ｖ － 13	有限会社池澤工務店		899-6401	鹿児島県霧島市溝辺町有川６２６番地６８	0995-59-2718	○	
46	Ｖ － 14	株式会社福山土木		899-4501	鹿児島県霧島市福山町福山４７７７	0995-56-2601		○
46	Ｖ － 15	蛭川工務店		899-4504	鹿児島県霧島市福山町佳例川４６９－６	0995-56-3116		○
46	Ｖ － 17	株式会社井上建設		899-5231	鹿児島県姶良市加治木町反土１８６２－２	0995-62-0465	○	
46	Ｖ － 19	有限会社ワタナベ建設		899-4321	鹿児島県霧島市国分広瀬三丁目４番３８号	0995-45-0997		○
13	Ｖ － 21	株式会社イエタス		102-0083	東京都千代田区麹町5丁目4番地セタニビル9階	03-3230-1215	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							10	○	○
46	Ⅵ － 11	80830	有限会社エイエスピイホーム		899-4321	鹿児島県霧島市国分広瀬4丁目7番6号	0995-45-1123	○	
46	Ⅵ － 12	80769	株式会社津田和建設		899-5112	鹿児島県霧島市隼人町松永3282番地4	0995-42-1238	○	
46	Ⅵ － 13	80846	有限会社池澤工務店		899-6401	鹿児島県霧島市溝辺町有川626番地68	0995-59-2718		○
46	Ⅵ － 14	80774	株式会社福山土木		899-4501	鹿児島県霧島市福山町福山4777	0995-56-2601		○
46	Ⅵ － 15	80806	蛭川工務店		899-4504	鹿児島県霧島市福山町佳例川469－6	0995-56-3116		○
46	Ⅵ － 16	80802	南建設株式会社		899-4351	鹿児島県霧島市国分新町一丁目4－55	0995-45-1013		○
46	Ⅵ － 17	80748	株式会社井上建設		899-5231	鹿児島県姶良市加治木町反土1862－2	0995-62-0465		○
46	Ⅵ － 18	80834	有限会社リアルナンニチ		899-4461	鹿児島県霧島市国分上之段1480－1	0995-48-2177	○	
46	Ⅵ － 19	80835	有限会社ワタナベ建設		899-4321	鹿児島県霧島市国分広瀬三丁目4番38号	0995-45-0997		○
46	Ⅵ － 20	80843	有限会社浅谷建設		899-4301	鹿児島県霧島市国分重久1678－1	0995-46-2001	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
46	Ⅵ － 11	80830	有限会社エイエスピイホーム	15 戸	18 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
46	Ⅵ － 12	80769	株式会社津田和建設	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
46	Ⅵ － 13	80846	有限会社池澤工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ － 14	80774	株式会社福山土木	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ － 15	80806	蛭川工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ － 16	80802	南建設株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ － 17	80748	株式会社井上建設	7 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ － 18	80834	有限会社リアルナンニチ	16 戸	17 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	560 ㎡	595 ㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
46	Ⅵ － 19	80835	有限会社ワタナベ建設	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
46	Ⅵ － 20	80843	有限会社浅谷建設	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡		

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 霧島杉利用住宅『霧島の家』	（地域型住宅供給対象地域） 鹿児島県
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） 霧島住まいの協議会	（結成年） 2012　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0381-0800	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	1）土台・柱・梁・桁の構造材の50%以上を合法木材・認証かごしま材とする 2）台風、南海沖地震に備え地震に強い住宅とするため、台風と地震に備え耐震等級2とする 3）高温多湿で降灰のある地域により、高断熱の家とするため、気密性の高い複層ガラスの窓を使用する 4）少子高齢化で高齢者が増えることにより、バリアフリー住宅を基本性能とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	1）台風と地震に備え耐震等級2とする 2）暑さ湿気対策により省エネ等級4に加え屋根と壁に遮熱対策として18mm以上の通気層を設置する 3）降灰、暑さ、湿気対策として気密性の高い複層ガラスの窓を使用する 4）地盤調査、設計性能の表示の義務化	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	当地域は強い日差しの為、軒を長めに出す　台風、通風 降灰、高温多湿、降水量などを考慮し、屋根は傾斜のあるものにする。 を考た窓や通気口を配置する　床は段差 のない床、広い出入口、広めの廊下、ゆるやかな階段とする	○
④ ①～③の背景	鹿児島県は、冬は温暖で、夏は日照時間が長く降水量の多い高温多湿な風土であり、日本一の台風上陸数と、南海沖地震も懸念され、桜島の降灰もありますこの地域の特性を考慮した。　また県土の65%にあたる59万haの森林のうちその50%が　逐次伐期を迎えつつある杉・桧の人工林である為、流通量と価格に安定的な流通ができると思われるのでこの地域材の特性を生かしていく。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域材は含水率20%以下の検査をクリアしたものを使い、乾燥機に使用する燃料は、製材による廃材を使用しコストの削減と省エネに貢献する	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：住宅設備の検討会を実施し、グループとして霧島杉利用住宅『霧島の家』に使用する木材の寸法規格化し、建材の選定を行い統一化を図る	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：建材流通業者や建材ﾒｰｶｰ等の協力により、市場の経済状況を随時考慮し、共同購入ができるものを優先仕入することによりコストの削減を図る	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：住宅設備の検討会にて省エネルギー化に対応する標準的な建材の仕様を設定している	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：検討会で設定した建築資材を、建材資材の流通構成員により一括調達し、施工業者へ出来るだけ低価格で、高品質の資材を提供する	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：納品書等により価格、納品日など事務局がまとめ、確認しグループで問題点を話し合う。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：住宅設備の検討会にて省エネルギー化に対応する標準的な建材の仕様をグループ内で検討し合理化している	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容：検討会で話し合われた建築資材、建築仕様等をまとめて一覧表にし、グループ内に周知、管理する	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容：長期優良住宅の施工基準に基づき施工する。（長寿命型のみ適用）	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容：着工時から竣工まで、現場監理事業者により3回～4回の現場検査を行う、その時施工事業者も立会し問題点があれば、グループ全体で情報交換しグループの信頼性の向上をめざす	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容：見積書は、標準見積書の作成により詳細な説明、提示の義務化、　顧客に信頼を得る為木材に一式表示をしないこととし、木拾いシートにより詳細を表示する。木材以外の明細も一式表示をしない様にし品番、規格、数量等を明確に表示し、主な材料にはカタログ等を添付する	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容：霧島杉利用住宅『霧島の家』のグループで定めた標準設計、施工を順守し鹿児島工業技術ｾﾝﾀｰの指導を仰ぎグループ内で成果発表を行う　施工状況の共有化をグループ内で行うためWeb上で管理し、効率的に資材を搬入し運送コストを削減する	○
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある　→	内容：顧客の休日に打合せ等行う事が多いので、完全週休2日制にすることはできないが、交代制により年間の休日日数を週休2日制と同じかそれ以上にする	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある　→	内容：個々の技術や経験に基づき給与、賃金を同等にする	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある　→	内容：健康保険、厚生年金、労働保険、等への加入済	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある　→	内容：安全確保の為、現場の清掃・整理・整頓を徹底する。 健康面については、年1回以上の健康診断を義務つける。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）霧島杉利用住宅『霧島の家』	（地域型住宅供給対象地域）鹿児島県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）霧島住まいの協議会	（結成年）2012　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0381-0800	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】							◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	顧客プレミアムにより顧客の情報内容の項目をできるだけ多く入力する	○
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：	JBN（全国工務店協会）の情報や大手建築資材卸業者、工業技術ｾﾝﾀｰ等より あらゆる情報を共有し活用する	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	事務局により随時確認し、勉強会時等で、グループ内に情報蓄積の確認をする	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	点検は、1ヵ月、3ヵ月、半年、1年、3年、5年、10年、20年、30年とし、 その報告を顧客プレミアムに入力し、問題点についてグループ内で共有する	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	住まいのメンテナンス目安確認表によりリフォーム時期の基準を定める。点検時に顧客に案内する 基本的に施工した工務店が補修する	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	事務局により随時確認し、勉強会時等で、グループ内に補修実施の確認をする	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：	グループの住まい管理勉強会を実施する（年間3～5回）	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：	最低年1回は、DIY体験会を行う 木工教室や遊びコーナー、食事会などを行い、DIY体験会に参加しやすい様工夫する	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：	年間3～5回のフェアにOB顧客を招待し、住宅の住み心地やお困り事などの相談を受ける メンテナンスで訪問した時など、随時相談を実施する。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：	グループの住まい維持管理委員会を年間3～5回実施する	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：	昼間の留守宅が多くなっているので、時間をずらして訪問したり、外部より点検したりする	◎
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	□ ある →	内容：	グループ内に相談員を配置し、顧客の相談窓口になり、定期点検の中断に対応する。できるだけ多くの情報を整備義務化し共同のフェアや相談会を開き、普段から多方面にわたり顧客の信頼を図る	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	□ ある →	内容：	グループの住まい管理勉強会の時に瑕疵内容等についても学ぶ	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。							

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】							◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：	未経験工務店には、個別に現場にて指導管理を行う 未経験工務店を含めグループ全員に商談方法から設計、見積もり仕様作成、施工等の知識、技術等のレベルアップのため多方面にわたる研修と話し合いを行う。	○
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	施工業者においては、経験者より定期的に研修を行う（年2回）	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	事務局が随時確認し、グループに情報を共有する	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：	需給計画を定期的に検討会で話し合い、設計、申請の流れや商談、営業のノウハウを共有し需給を増やす	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：	設計、申請、施工の流れ、商談や営業等の研修を経験工務店から未経験工務店へ研修を行う（年1回以上）	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：	展示会や相談会等に大工をはじめ左官、電気工事、設備工事、内装工事、建材メーカー木材業者、など様々な業種の関係者にも参加してもらい、長期優良住宅、ゼロエネ住宅の 仕様等の理解を深め、現場の合理化を進める	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　4			今年度の参加目標人数　4	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　2			今年度の参加目標人数　2	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：	省エネ技術講習会の開催日程を早期にｸﾞﾙｰﾌﾟに連絡、受講の重要性を説明する	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：	新たな技術については、資材のﾒｰｶｰや問屋、住宅ｾﾝﾀｰ、工業技術ｾﾝﾀｰ等との連携を図り 随時技術の導入を行う	◎
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：	新たな技術については、資材のﾒｰｶｰや問屋、住宅ｾﾝﾀｰ、工業技術ｾﾝﾀｰ等との連携を図り ｸﾞﾙｰﾌﾟの勉強会にて提案を求め、その都度実験、実証する	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			学生の職場体験実習や講演会の依頼など、積極的に受け入れ技術の継承に寄与できるようにする 原木→製材→プレカット→施工現場の工場見学の実施予定（9月） 断熱材・2重サッシ・強化ガラスの体験学習の実地（8月） 木工教室開催予定（8月25日土）　住まいの相談会開催予定（7月14日・8月25日）				○

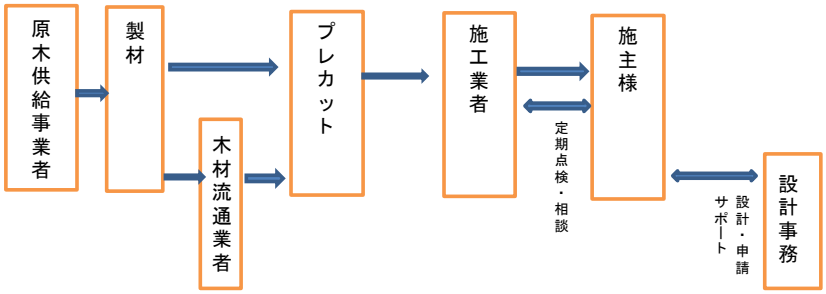
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）霧島杉利用住宅『霧島の家』	（地域型住宅供給対象地域）鹿児島県
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）霧島住まいの協議会	（結成年）2012 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0381-0800	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	主要構造材（土台・柱・桁・梁）に合法木材（国内・国外）を使用する	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：原木・製材業者の在庫量の表示をWeb上で構成員がいつでも把握できるようにしている	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：原木・製材業者の価格の表示をWeb上で構成員がいつでも把握できるようにしている	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：2ヵ月に1回施工会社へ推進調査を実施し需要予測を図る	○
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：1棟に1部屋以上畳を使用する	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の目標3棟以上	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：1棟に2枚以上襖を使用する	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：1棟に2枚以上襖を使用する	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：建具などに地域の杉・桧等を使用する	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：鹿児島県は強い日差しを遮るため、深い庇、軒を継承する	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：積極的な地位材の使用と高断熱仕様により年間通して過ごしやすい住宅を推奨する	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：鹿児島県の各市町村における景観計画に基づき設計施工する	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：現代風の住まいを取り入れつつ、土間、床の間等の取り入れを促す	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		和の住まいのパンフレット等を施工会社と住まい手に配布し、和の住まいの推進を図る	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	東日本大震災の復興については、資材の調達や施工の協力に寄与してきたので、仕組みつくりはできている。要請があれば柔軟に対応する	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	仮設住宅から永住宅への移行が進んでいるが、いまだに仮設住宅があり、補修工事も進んでいない。東日本大震災のノウハウを生かし、資材の調達や施工の協力に取り組む。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）霧島杉利用住宅『霧島の家』	（地域型住宅供給対象地域）鹿児島県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）霧島住まいの協議会	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0381-0800	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

当グループの取り組むゼロ・エネルギー住宅は、以下の通りとする

住宅の高断熱化
冬は日差しを取り込み、夏場は日差しを遮る

風通しを良くして、春秋の冷暖房費を削減

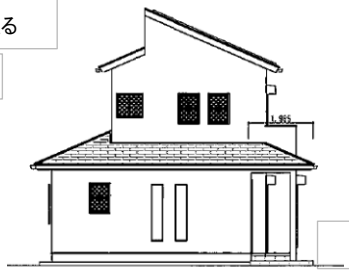
高効率給湯器

節水水栓金具

浴室は高断熱浴槽

照明器具はすべてLED照明にし白熱灯を使用しない

トイレは節水型トイレ



太陽光発電システム
太陽光を使って電気エネルギーをつくる

断熱等級4以上

オール電化住宅

サッシは複層ガラスに加え高断熱Low-Eを使用

南面についてはできるだけ軒、庇を長く出し日差しを遮る

高効率空調設備

外構はできるだけ緑化推進

ゼロエネの場合はBELS認証による評価必須
他、認定低炭素住宅等は、BELS認証による評価推奨

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。